

# 卒業にあたって



## 物質化学工学科5年 田中 利奈

そもそも、私が寄稿してもいいものかと思うのですが、せっかくなので書かせていただきます。卒業一問前に迫ってくるにつれて、同時に不安や寂しさも込み上げてきます。それだけ、奈良高専で過ごしてきた日々は、私にとってかけがえのないものでした。

振り返れば、ここには到底取りきれないほどの思い出が溢れかえっています。毎日の授業や課題、夜までかかって仕上げた実験レポートなどは大変でしたが、そのぶん確実に自分の力となりました。また、在籍していた弓道部では1年間部長を務め、人をまとめる難しさを痛感し、悩んだこともありました。それも今では自分の成長につながる良い経験だったと思います。

先日、大学4年生の方とお話する機会があり、「早いうちから実験や研究ができることは羨ましい」と言っていたいただきました。この言葉が物

語るように、高専生の強みは実践的な「経験」であると思います。講義で得た知識はもちろん、学生実験や卒業研究を通して、実験技術等を身につけられたことは今後生きる貴重な財産です。

そして、何より5年間を通して仲を深め、互いに支え合える仲間を得られたことを忘れてはいけません。それぞれが、就職、専攻科進学、大学編入と、自分で選んだ新たな場所へ進んでいきます。すべてが順風満帆とはいかず、様々な問題や困難に直面するでしょう。しかし、私達ならそれに臆することなく前を向いて進み続けていけると信じています。

最後になりましたが、この5年間丁寧な御指導をいただきました先生方、生活面を支え応援してくれた家族、奈良高専で出会った先輩、後輩、他学科の友人達、そして苦楽を共にしてきたクラスメート達にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

## 学級担任 三木 功次郎

そもそも、皆さんは何のために勉強をしてきたのでしょうか。「進路のため」、「成績を上げるため」など色々な目的があったことでしょうか。しかし、勉強をするための目的は常に必要でしょうか。普段の生活では、ただ「面白い」とか「興味がある」ということだけでやっていることが多くあります。これからは目的のある勉強以外にも、知的好奇心で楽しみながら勉強することもお勧めします。皆さんがこれからの長い人生の様々な苦難を乗り越え、「おもしろおかしく」生きていかれることを祈っています。



# 修了にあたって

## 機械制御工学専攻2年 中島 往馬

もう卒業なんだ！ 講義、特別実験、特別研究…多くの課題を抱え、2年間はあっという間でした。特に去年参加した大学インターンシップや学会など学外にでる機会は自分のこれからのにとって大変良い経験になりました。専攻科だからこそだと思います。また大学院受験は、自分を見つめ直すことができました。本当に充実した専攻科での学生生活でした。教員の皆様、事務員の皆様、そして、今日まで助けあった友人、家族のおかげです！本当にありがとうございました。専攻科で過ごした時間を大切に、これからも頑張っていきます。

## 電子情報工学専攻2年 中川 尊雄

本科四年次への編入以来、修了までの四年間を振り返れば、5%を研究室で過ごしてきたこととなります。

高校からの編入ですので、僕が高専で学んでいる間、高校時代の同輩は丁度大学生です。そう考えると、研究にかけられる時間の少ない大学に比べ、高専は研究の自由度の面では恵まれた環境です。私

自身、学外発表、国際会議への参加などを経験でき、よい経験になりました。後輩諸君には是非、高専の様々な意味でクセのある特徴を活かし、明日のために頑張っていたいただければと思います。

では皆さん、またいつかお会いできるのを楽しみにしています。どうもありがとうございました。

## 化学工学専攻2年 河田 晋治

高専生活の7年間のうちで、最も濃密な2年間を専攻科で過ごすことが出来たと感じます。学校生活、研究活動を通して、新たな経験、学び、出会い、思考、発見がありました。特に印象深いことは、海外で開催された国際会議で発表したことです。異なる文化に触れ、英語でコミュニケーションを取ることには非常にいい経験になり、自分の伝えたいことを別の言語で伝えることの難しさを改めて知ることが出来ました。このような有意義な時間を過ごせたのは多くの仲間や先生方の支えがあったからこそだと感じます。最後になりましたが、こんな未熟者の私と関わってくれた全ての人々に深く感謝いたします。

## 専攻科長 押田 至啓

奈良高専専攻科修了おめでとうございます。就職、進学と専攻科を巣立っていきますが、社会では多くの困難が待ち受けているでしょう。今、まさに皆さんのような「若い力」「若い技術者」が必要とされ、また将来が委ねられています。このときこそ専攻科で培った多岐にわたる技術力、実践的な開発能力を大いに活かし活躍し、日本を、さらに世界を牽引していく力となることを期待します。いざ、輝かしき未来に向け飛び立とう。

